

令和5年度小松市立松東みどり学園 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	自己指導能力の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒会目標実現に向け、児童生徒会を中心に各委員会が役割(常時活動・独自企画の運営)を果たせるようにする。その際、児童生徒主体の活動となるよう指導や援助を行う。 ・児童生徒の現状把握と情報共有のミーティングを、職員会議から2週間後の週に、低学年・高学年・後期課程それぞれで、生徒指導担当を中心に行う。 ・児童生徒の社会的自立を目指して、不登校児童生徒やその傾向がある児童生徒に対し、校内の受け入れ体制を整えつつ、保護者や外部機関との連携も進めていく。 		
特別支援教育	児童生徒理解を深め、特別支援教育の充実を図る		
	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの部会（低学年・高学年・後期課程）ごとに、特別教育支援員の記録や日常の見取りから気になる児童生徒の実態把握を図る。 ・毎月の児童生徒理解の会において、それぞれの部会で挙げられた児童生徒の情報共有を図り、組織的な対応を行う。 ・必要に応じてケース会議を行い、児童生徒の困りごとなどに素早く対応できるようにする。 ・特別支援教育校内委員会を学期に1回行い、要支援児童生徒に対する支援の方針や体制を協議し見直しを図る。 ・関係諸機関との連携を密にし、より有効な支援のあり方を追求する。 		
道徳教育	深い学びにつながる授業づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> ・中心発問や切り返し発問などの吟味を通して、学びを深められる授業実践を積み重ねていくために、ペア学年ごとの教材研究の場を学期に一回以上設定する。 ・年間に各学級1回以上ゲストティーチャーの活用をする。 ・掲示計画を立て、道徳掲示板を活用し各学年の実践を広める。 		
保健健康教育	健康の促進・体力の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業で本校の体力課題に対応した運動メニューを担当が提案し実施する。 ・体力・運動能力調査に年間を通じて取り組み、その成果を定期的に確認し改善を図る。 ・委員会活動など児童生徒会が主体的に考えた企画を通して、児童生徒のよりよい生活習慣を目指す。 ・専門の先生を招聘し、指導法についての理解等を深めるとともに、運動の楽しさを感じられる授業の実現を図る。 		
特色づくり	9年間の学びの中で持続可能な社会を担う人材に必要な資質・能力を育成する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒自身が目標に向かい計画、実行、評価、改善を行う。 ・自らのキャリアを考えるために、職業や上級学校に関する学習を行う。 ②みらい探究科 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションタイムの学習を基盤としたプロジェクトタイムの学習を行う。 ・ステージⅡ以上の学年では、英語による表現の場を設ける。 ③英語教育 <ul style="list-style-type: none"> ・生きた英語力の向上を図るために、年間を通じて自己表現する学習を行う。 ・前期課程からの英語検定の受検を奨励していく。 		
学校関係者評価			